

# 東嶺山だより

令和2年7月 通刊150号

355-0044 東松山市正代755-1

電話・FAX 0493-34-6555

email: semyojuji@yahoo.co.jp

HP: tosaki.web.fc2.com/index.htm

携帯 090-2446-5209

## お知らせ

■お盆行事関係 ～お盆関係志納・申込みは別紙参照～  
新型コロナウイルス感染予防の為、大幅な変更がありますので、ご理解ご協力をお願いいたします(赤字が変更部分)

- |            |                |  |
|------------|----------------|--|
| ○盆供(ぼんく)   | 8月2日(日)午前中     | * マスク着用でおいで下さい                                 |
| ○迎盆(むかえぼん) | 8月13日(木)       |  |
| ○棚経(たなぎょう) | 8月14日(金)       | 本年は、新盆家のみお伺いします                                |
| ○施食会(せじきえ) | 8月15日(土)午前11時  | ・3密を避ける為、参列者(法要中の焼香者)を「役員」と「新盆家」のみと制限させていただきます |
| ○塔婆受領      | 8月15日(土)午後1時以降 | ・本堂へ上がり、各自施食棚で焼香後お受け取りください                     |
| ○送り盆       | 8月16日(日)       |  |

\* 8月2日に盆供においでになれない場合は、事前に連絡の上おいでいただくか、現金書留などでお届けください。

\* 護持会費等の納入がお済みでない方は、併せて納入願います。  
護持会費(6000円)+特別積立金(2000円)=**8000円**

### <施食会と新盆(初盆)>

亡くなられて49日を経過した最初の盆を新盆とか初盆とかいいます。呼び方も地方によって「にいぼん、あらぼん、はつぼん」など様々です。新盆を迎える家は、普通の盆よりも、より丁寧に先祖様をお迎えすることが大切です。

新しい仏様を迎えるために、白張りの提灯を軒先につけることもあります。精霊だなを設置するのが無理な場合は、故人の位牌を取り出して、小テーブルに安置し、香炉・花瓶・ローソク立ての三具足を配置し、故人の好物などを供えます。

寺の施食会では、新盆の仏様には特別な供養(法要)を行いますので、ご家族・ご親族お揃いでお出かけください。



## ■盆踊りの由来は？ 日本で広めたのは？



盆踊りの由来は、お釈迦様の弟子の目連様が、亡き母を餓鬼道から救った時、雀踊りしたのがはじまりとされています。日本では、空也上人が始め、一遍上人が引き継ぎ全国に広まりました。また、盆踊りの夜は、男女の性の解放期間でもあったといい、その昔、村の若者はそれぞれ相手の娘を決めたりしたと言われていました。盆休みの間だけ女房にできる地方もあり、なんと、これを「盆かかあ」と呼んでいたそうです。

残念ながら、今年の高坂地区の盆踊りは、新型コロナウイルス感染予防の為中止となりました。

## ■与えられた試練「自粛生活」を活かす

過福は糾(あざなえ)る縄の如し」という言葉がありますが、幸と不幸は、縄をより合わせたように変遷するという意味です。感染症などのパンデミックは、今に始まったことではなく、有史以来何度も繰り返され、人はそのたびに智慧と連帯で乗り越えてきました。

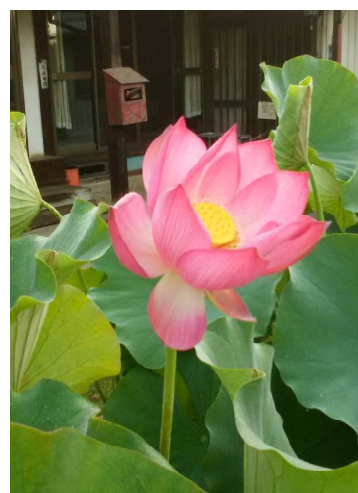
その結果、今回も、智慧と連帯で、多くの新型コロナウイルス感染対策がなされ、その結果、悪いことだけでなく良いこともあったように思います。ある書物に、良いことがまとめられていましたので紹介します。

- ①在宅勤務になり、人間関係に気を遣わなくてすんだ
- ②電車「痛勤」が緩和された
- ③禁煙できた
- ④子供と過ごす時間が増え、家族との関係が深まった
- ⑤体調管理が出来て、健康になり、減量できた(これについては、逆に太ってしまった、という話も知人から多く聞きましたが…)
- ⑥世の中にはデマが多いことに気づき、メディアリテラシー(必要な情報を選んで活用する力)の必要性を感じた
- ⑦改めて、世界と繋がっていることに気づき、世界情勢に関心を持つようになった

みなさんは、どうですか。何か良いことがありましたか。私は、少し野菜作りをしています。例年に比べて早め早めに栽培や管理が進んだように思います。家内は、家の中の断捨離がかなり進んだと言っていました。

こういう時こそ、あれもできないこれもできないではなく、出来ることは何か前向きに捉え、今後に活かすことが大事なことなのだろうと思います。

生きていて無駄なことは何一つありません、どんな試練も何か意味がある、と言います。観音様も、「あなたには、乗り越えられる力があるから頑張ると」と、敢えて試練を与えておられます。



境内に咲いた蓮

## ■今月のことば 4月号から、『修証義(しゅしょうぎ)』連載しています

### 第4回 <修証義の教え－第5章 発願利生－布施・愛語・利行・同事>

他人のために尽くす四つの真理、四摂法(ししょうぼう)の教えを説きます。

それは、布施(むさばらないで、へつらわず、物をいかす、見返りを求めず、持っている物や心を他の人に与える)、愛語(心を込めて、優しい言葉をかける)、利行(自分と他人の区別無く、平等に他の人が利する行動をする)、同事(自分を捨てて、相手の立場に立ち、溶け合って生きていくこと)を説いています。

## ■今月の行事等

「3密」に留意しながら再開しています。マスクをご持参ください。

○坐禅会・写経会 12日、26日

○寺子屋 4日、11日